

令和元年度下水道局資金運用管理実績(年間)について

令和元年度の年間の資金運用管理実績を取りまとめましたので、お知らせします。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	元年度 (A)	30年度 (B)	対前年度比 (A-B)
平均残高	532億円	459億円	518億円	694億円	551億円	496億円	55億円
最高残高	1,077億円	770億円	795億円	1,106億円	-	-	-
最低残高	267億円	316億円	375億円	539億円	-	-	-
利回り	0.002%	0.004%	0.004%	0.003%	0.003%	0.003%	0.000 %
運用収入	32万円	52万円	50万円	52万円	186万円	149万円	36万円

- 工事費等の支出の減少により、平均残高が前年度より増加した結果、利回りは前年度同様0.003%ですが、運用収入は前年度の149万円から増加し、186万円となりました。
- 平均残高は551億円でしたが、期中の残高は企業債等の収入や元利償還金等の支出により大幅に増加、減少することがありました。
- このような当局特有の資金状況を踏まえた資金収支の見通しを基に、日々の支払に備える支払準備資金を普通預金で確保したうえで、運用可能な資金については、短期間の定期性預金による運用を行いました。

運用商品別内訳

	期中平均残高		残高推移				運用収入 及び 利回り
	元年度 億円	構成比 %	H31.3.31 残高 億円	R2.3.31 残高 億円	増減		
					増減額 億円	増減率 %	
預金	551	100.0%	824	974	150	18.2%	運用収入計
定期性預金	152	27.6%	120	130	10	8.3%	186万円 利回り
普通預金	399	72.4%	704	844	140	19.9%	
計	551	100.0%	824	974	150	18.2%	0.003%

注1 「運用収入」は、発生主義による額を掲載しており、実際に収入した額とは異なる。

注2 「利回り」は、年利換算した計数を表示。

注3 計数については、表示単位未満を四捨五入し端数整理をしていないため、合計等と一致しない場合がある。